

鬼怒小貝流域下水道事業関連

八千代町流域関連公共・特環下水道事業

計画説明書

令和3年度

茨城県八千代町

【目次】

1. 計画の概要	1
1.1. 全体計画の概要	1
1.2. 事業計画の概要	1
2. 予定処理区域及びその周辺の地域の地形及び土地の用途	4
2.1. 地形及び土地の用途	4
2.2. 下水排除方式及びその決定の理由	5
2.3. 予定処理区域及びその決定の理由	5
2.4. 予定排水区域及びその決定の理由	6
2.5. 管渠施設の位置の決定の理由	6
3. 計画下水量、流域下水道へ流入する下水量及びその算出の根拠	7
3.1. 人口及び人口密度並びにこれらの推定の根拠	7
3.1.1. 行政人口	7
3.1.2. 計画人口	8
3.2. 一人一日当りの汚水の量及びその推定の根拠	9
3.3. 家庭下水、工場排水、地下水等の量及びこれらの推定の根拠	10
3.3.1. 家庭汚水量及び地下水量	10
3.3.2. 工場排水量	11
3.3.3. 計画汚水量のまとめ	12
3.4. 降雨量（降雨強度公式を含む）及びその決定の理由	13
3.4.1. 雨水流出量算定式	13
3.4.2. 確率降雨強度	13
3.4.3. 流出係数及びその決定の理由	14
3.5. 主要な管渠の流量計算	15
4. 流域関連公共下水道から流域下水道に流入する下水の予定水質及びその推定の根拠	16
4.1. 一般家庭下水の予定水質、汚濁負荷量及びその推定の根拠	16
4.1.1. 家庭汚濁負荷量原単位	16
4.1.2. 家庭下水の予定水質及び汚濁負荷量	16
4.2. 工場排水の予定水質及び汚濁負荷量並びにその推定の根拠	17
4.3. 流域下水道への流入水質	17
5. その他事業を明らかにするために必要な書類	18
5.1. 様式1 施設の設置に関する方針	18
5.2. 様式2 施設の機能の維持に関する方針	19
5.3. 様式3 財政計画書	20
6. 参考資料（基準年次別の段階的建設計画）	23

1. 計画の概要

1.1. 全体計画の概要

本町は茨城県西部に位置し、首都東京からは60kmの自然環境に恵まれた地域である。近年宅地化が進み家庭雑排水等による公共用水域の汚染が懸念されており、美しい自然環境の保全においても社会開発の一環となる下水道整備の必要性が高まってきた。このような情勢のなかで、平成14年度に鬼怒小貝流域下水道全体計画が鬼怒川、小貝川流域における公共用水域の水質汚染防止と生活環境の改善を目的として平成27年度を計画目標年次として策定された。本町においても上位計画である鬼怒小貝流域下水道との整合性を図りつつ、既定市街化区域約136haのうち工業専用地域28.7haを除く106.8ha並びに既定市街化区域外の一般集落803.7haを加えた910.5haの全体計画を策定するに至った。

平成25年度には上位計画である「利根川流域別下水道整備総合計画（平成24年茨城県）（以降、利根川流総計画という）及び鬼怒小貝流域下水道全体計画（平成25年）と整合を図り、主に計画人口及び汚水量原単位について見直しを行っている。

1.2. 事業計画の概要

本事業は平成7年度に当初認可を、平成30年度に第7回変更認可を受け、土地区画整理事業の区域を中心に、集落の整備や上水道、排水路等との整合性を図りながら鋭意事業を進めている。平成26年度に区域拡張した29.8haのうち、令和2年度末時点で20.97ha（進捗率70.4%）まで、現事業計画区域251.6haのうち令和2年度末時点で約209.4ha（進捗率約83%）まで整備が進捗している。

今回の事業計画では、以下の事項に関して変更を行うものである。

➤ 予定処理区域の拡張及び主要な管きよの延伸・変更

近年の汚水整備進捗状況を踏まえ、汚水事業計画区域25.8haを拡張し、主要な管きよである八千代1号汚水幹線を延伸する。さらに、流域界の見直しに伴い、伊勢山1号汚水幹線を変更する。

➤ 計画目標年次の延伸

事業計画拡張区域の汚水処理施設整備に必要な期間として、計画目標年次を令和6年3月31日から令和9年3月31日まで延伸する。また、目標年次の延伸及び処理区域拡張による人口、原単位等についても整合を図る。

➤ 下水道法改正に伴う吐口調書の記載事項の変更

令和3年5月10日公布の流域治水関連法に伴う下水道法の改正により、事業計画の「第3表 吐口調書」の記載事項が変更になったため、これに対応する記載に変更した。なお、本町では、現在、下水道で管理する樋門等はないため、点検及び頻度の技術上の基準については、記載しないものとする。

表 1-1 計画新旧対照表

項目		全体計画	事業計画				
			今回計画	既計画	増減		
目標年次		令和8年度	令和8年度	令和5年度	3年延伸		
計画区域 (ha)		910.5	277.4	251.6	+ 25.8		
計画人口 (人)		12,601	5,470	5,270	+ 200		
原単位 設計 諸元	営業用水率		0.20	0.20	0.20	±0	
	地下水率		0.15	0.15	0.15	±0	
	日平均/日最大		0.75	0.75	0.75	±0	
	時間最大/日最大		1.50	1.50	1.50	±0	
汚水 原単位 (L/日・人)	日平均	家庭	生活	230	230	230	±0
			営業	45	45	45	±0
			計	275	275	275	±0
		地下水	55	55	55	±0	
		合計	330	330	330	±0	
	日最大	家庭	生活	305	305	305	±0
			営業	60	60	60	±0
			計	365	365	365	±0
		地下水	55	55	55	±0	
		合計	420	420	420	±0	
	時間最大	家庭	生活	460	460	460	±0
			営業	90	90	90	±0
			計	550	550	550	±0
		地下水	55	55	55	±0	
		合計	605	605	605	±0	
	計画 汚水量 (m ³ /日)	日平均	家庭	3,470	1,510	1,440	+ 70
地下水			690	300	290	+ 10	
工場排水			580	170	160	+ 10	
合計			4,740	1,980	1,890	+ 90	
日最大		家庭	4,600	1,980	1,910	+ 70	
		地下水	690	300	290	+ 10	
		工場排水	580	170	160	+ 10	
		合計	5,870	2,450	2,360	+ 90	
時間最大		家庭	6,930	3,010	2,900	+ 110	
		地下水	690	300	290	+ 10	
		工場排水	1,160	340	320	+ 20	
		合計	8,780	3,650	3,510	+ 140	
雨水	計画区域 (ha)	910.5	45.5	45.5	—		

表 1-2 計画新旧対照表（処理分區別）

項目		全体計画	事業計画			
			今回計画	既計画	増減	
汚水	計画区域 (h a)	八千代第1	348.4	165.6	139.8	+ 25.8
		八千代第2	167.1	23.4	23.4	±0
		八千代第3	267.9	19.9	19.9	±0
		八千代第4	51.2	22.7	22.7	±0
		八千代第5	39.4	10.0	10.0	±0
		八千代第6	35.8	35.8	35.8	±0
		八千代第7	0.7	-	-	±0
		小計	910.5	277.4	251.6	+ 25.8
	計画人口 (人)	八千代第1	6,511	4,040	3,790	+ 250
		八千代第2	1,459	200	210	- 10
		八千代第3	2,906	220	220	±0
		八千代第4	517	230	230	±0
		八千代第5	554	140	150	- 10
		八千代第6	638	640	670	- 30
		八千代第7	16	-	-	±0
小計		12,601	5,470	5,270	+ 200	
雨水	計画区域 (h a)	山川第1排水区	23.4	-	-	—
		山川第2排水区	45.8	-	-	—
		山川第3排水区	40.8	-	-	—
		山川第4排水区	42.5	3.2	3.2	—
		山川第5排水区	42.0	42.0	42.0	—
		山川第6排水区	30.7	-	-	—
		山川第7排水区	12.8	-	-	—
		山川第8排水区	9.4	-	-	—
		山川第9排水区	21.4	-	-	—
		入沼第1排水区	81.0	0.3	0.3	—
		入沼第2排水区	11.0	-	-	—
		入沼第3排水区	31.3	-	-	—
		入沼第4排水区	40.7	-	-	—
		入沼第5排水区	28.5	-	-	—
		入沼第6排水区	19.2	-	-	—
		入沼第7排水区	14.8	-	-	—
		入沼第8排水区	17.9	-	-	—
		入沼第9排水区	14.0	-	-	—
		吉田第1排水区	70.7	-	-	—
		吉田第2排水区	67.2	-	-	—
		吉田第3排水区	22.7	-	-	—
		吉田第4排水区	3.3	-	-	—
		吉田第5排水区	23.0	-	-	—
		平塚排水区	41.8	-	-	—
		東仁連川第1排水区	35.6	-	-	—
		東仁連川第2排水区	52.7	-	-	—
		東仁連川第3排水区	3.5	-	-	—
		舟戸排水区	26.3	-	-	—
仁江戸排水区	36.5	-	-	—		
小計	910.5	45.5	45.5	—		

2. 予定処理区域及びその周辺の地域の地形及び土地の用途

2.1. 地形及び土地の用途

八千代町は関東平野のほぼ中央、茨城県の南西に位置し、首都東京へ 60km、県都水戸市へ 70km、科学技術の集積都市つくば市へ 20km の距離にある。東は鬼怒川を挟んで下妻市に、西は古河市、北は結城市、南は常総市、坂東市に隣接している。広ぼうは東西に 7.7km、南北に 12.4km、総面積は約 59km² である。地勢はおおむね平坦で、町の中央部を流れる山川を境に東部は水田が開け、西部は畑地がその大部分を占めており、平地林もわずかに残されている。

土地利用の現況を表 2-1 に、用途地域の指定状況を表 2-2 に示す。

表 2-1 土地利用の現況

種 類	面積(ha)	比率
田	1,405	23.8%
畑	2,328	39.5%
宅 地	766	13.0%
山林	316	5.4%
原野	4	0.1%
雑種地	271	4.6%
その他	802	13.6%
合 計	5,892	100.0%

出典: 統計やちよ(平成31年度) 1.土地・気象 3地目別土地面積 平成31年1月1日現在

表 2-2 用途地域の指定状況

用 途 区 分	面積(ha)	比率
第一種低層住居専用地域	22.7	15.9%
第二種低層住居専用地域	19.6	13.7%
第一種中高層住居専用地域	—	—
第二種中高層住居専用地域	9.5	6.6%
第一種住居地域	37.9	26.5%
第二種住居地域	5.4	3.8%
準住居地域	5.9	4.1%
近隣商業地域	5.9	4.1%
商業地域	—	—
準工業地域	—	—
工業地域	—	—
工業専用地域	36.2	25.3%
合 計	143.1	100.0%

出典: 八千代町HP(<http://www.town.ibaraki-yachiyo.lg.jp/page/page000217.html>)

平成28年5月16日 告示

2.2. 下水排除方式及びその決定の理由

下水の排除方式は、下水道計画の目的及び既存下水道施設の整備状況によって決定される。本公共下水道計画の主目的は、公共水域の水質汚濁防止と生活環境の改善であり、汚濁の流出機構から判断して合流式よりも分流式の方が優れている。以上から本計画においては分流式を採用する。

2.3. 予定処理区域及びその決定の理由

全体計画及び事業計画の予定処理区域は、表 2-3 に示すとおりであり、八千代第1処理分区の汚水事業計画区域を既計画から 25.8ha 拡張する。

表 2-3 予定処理区域（汚水）

項目	接続箇所 (No.)	計画面積 (ha)			
		全体計画	事業計画		
			今回計画	既計画	増減
①	②	③	④=②-③		
八千代第1	19	348.4	165.6	139.8	25.8
八千代第2	20	167.1	23.4	23.4	-
八千代第3	21	267.9	19.9	19.9	-
八千代第4	22	51.2	22.7	22.7	-
八千代第5	23	39.4	10.0	10.0	-
八千代第6	24	35.8	35.8	35.8	-
八千代第7	(25)	0.7	-	-	-
合計	-	910.5	277.4	251.6	25.8

八千代第7処理分区は、千代川第2処理分区へ流出後、接続点25へ流出

2.4. 予定排水区域及びその決定の理由

予定排水区域は、既計画の内容から変更はない。全体計画及び事業計画の予定排水区域を表 2-4 に示す。

表 2-4 予定排水区域（雨水）

項目	吐口 番号	放流先	雨水幹線名	計画面積(ha)						
				全体計画			事業計画			
				排水 区域	流入 区域	計	排水 区域	流入 区域	計	
1	山川第1排水区	1	山川沼排水路	山川1・2号	23.4	50.7	74.1	-	-	-
2	山川第2排水区	2	〃	山川3・4・5号	45.8	170.9	216.7	-	-	-
3	山川第3排水区	3	〃	山川6号	40.8	15.7	56.5	-	-	-
4	山川第4排水区	-	〃	-	42.5	-	42.5	3.2	-	3.2
5	山川第5排水区	4	〃	山川7号	42.0	-	42.0	42.0	-	42.0
6	山川第6排水区	-	〃	-	30.7	-	30.7	-	-	-
7	山川第7排水区	-	〃	-	12.8	-	12.8	-	-	-
8	山川第8排水区	-	〃	-	9.4	-	9.4	-	-	-
9	山川第9排水区	-	〃	-	21.4	-	21.4	-	-	-
10	入沼第1排水区	5	入沼排水路	入沼1・2号	81.0	6.5	87.5	0.3	-	0.3
11	入沼第2排水区	-	〃	-	11.0	-	11.0	-	-	-
12	入沼第3排水区	6	〃	入沼3号	31.3	4.5	35.8	-	-	-
13	入沼第4排水区	7	〃	入沼4号	40.7	17.7	58.4	-	-	-
14	入沼第5排水区	-	〃	-	28.5	-	28.5	-	-	-
15	入沼第6排水区	-	〃	-	19.2	-	19.2	-	-	-
16	入沼第7排水区	-	〃	-	14.8	-	14.8	-	-	-
17	入沼第8排水区	-	〃	-	17.9	-	17.9	-	-	-
18	入沼第9排水区	-	〃	-	14.0	-	14.0	-	-	-
19	吉田第1排水区	8	吉田用排水路	吉田1・2・3号	70.7	81.5	152.2	-	-	-
20	吉田第2排水区	9	〃	吉田4・5・6号	67.2	195.3	262.5	-	-	-
21	吉田第3排水区	10	〃	吉田7・8号	22.7	36.2	58.9	-	-	-
22	吉田第4排水区	-	〃	-	3.3	-	3.3	-	-	-
23	吉田第5排水区	-	〃	-	23.0	-	23.0	-	-	-
24	平塚排水区	-	〃	-	41.8	-	41.8	-	-	-
25	東仁連川第1排水区	11	東仁連川	東仁連川1号	35.6	106.3	141.9	-	-	-
26	東仁連川第2排水区	12	〃	東仁連川2号	52.7	14.9	67.6	-	-	-
27	東仁連川第3排水区	-	〃	-	3.5	-	3.5	-	-	-
28	舟戸排水区	13	飯沼川	舟戸	26.3	76.2	102.5	-	-	-
29	仁江戸排水区	-	山川沼排水路	-	36.5	-	36.5	-	-	-
	合計	-	-	-	910.5	776.4	1,686.9	45.5	-	45.5

2.5. 管渠施設の位置の決定の理由

管渠の位置は自然流下を原則として決定する。污水管渠にあつては、流域下水道接続点の位置、道路網、地形状況等によって決定する。

3. 計画下水道、流域下水道へ流入する下水道及びその算出の根拠

3.1. 人口及び人口密度並びにこれらの推定の根拠

3.1.1. 行政人口

本町の行政人口の実績推移及び全体計画で設定している将来行政人口を表 3-1 に示す。全体計画では、目標年次（令和 8 年度）の行政人口を 21,170 人と設定していることから、今回計画においては事業計画目標年次（令和 8 年度）における行政人口を 21,170 人とする。

表 3-1 実績行政人口の推移及び将来行政人口の設定値

項目	実績					将来	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	事業計画	全体計画
						令和8年度	令和8年度
人口(人)	21,870	21,809	21,450	21,214	20,882	21,170	21,170
世帯数(戸)	6,959	7,125	7,120	7,154	7,176	—	—
1世帯当り人口(人/戸)	3.14	3.06	3.01	2.97	2.91	—	—

※1 いばらき統計情報ネットワーク「茨城県の人口(茨城県常住人口調査結果報告書)」

第2表 世帯数、人口及び面積(10月1日現在)ー県・地域・市町村ー

※2 事業計画における行政人口21,170人は、全体計画（令和8年度）の行政人口と同一とする。

3.1.2. 計画人口

全体計画区域内人口及び人口密度を表 3-2 に、今回計画の計画人口を表 3-3 に示す。事業計画の計画人口は、以下の式より算出している。

$$\text{事業計画人口 (人)} = \text{事業計画人口密度 (人/ha)} \times \text{事業計画面積 (ha)}$$

※ 事業計画人口密度は、令和 8 年度人口密度を用いる。

表 3-2 【令和 8 年度】全体計画区域内人口及び人口密度

項目	計画面積(ha)	計画人口(人)					人口密度(人/ha)※1	
		現状 (平成24年度)	中間年次 (令和3年度)	全体計画(令和8年度)			中間年次 令和3年度	全体計画 令和8年度
				自然	開発	合計		
①	②	③=②, ④直線補間	④	⑤	④+⑤	⑥=③/①	⑦=④/①	
八千代第1	348.4	4,389	4,095	3,931	2,580	6,511	11.75	11.28
八千代第2	167.1	1,725	1,554	1,459	-	1,459	9.30	8.73
八千代第3	267.9	3,384	3,077	2,906	-	2,906	11.49	10.85
八千代第4	51.2	539	525	517	-	517	10.25	10.10
八千代第5	39.4	749	624	554	-	554	15.84	14.06
八千代第6	35.8	786	691	638	-	638	19.30	17.82
八千代第7	0.7	12	15	16	-	16	21.43	22.86
合計	910.5	11,584	10,581	10,021	2,580	12,601	-	-

※1: 開発人口は別途算出しているため、開発の人口密度は設定していない。

表 3-3 【事業計画：令和 8 年度】計画人口

項目	今回計画					既計画 計画人口 (人)	増減
	計画面積 (ha)	人口密度(人/ha)	計画人口(人)				
		①	自然※1 ②	自然 ③=①*②	開発※2 ④	計 ⑤=③+④	⑥
八千代第1	165.6	11.3	1,870	2,170	4,040	3,790	250
八千代第2	23.4	8.7	200	-	200	210	-10
八千代第3	19.9	10.9	220	-	220	220	-
八千代第4	22.7	10.1	230	-	230	230	-
八千代第5	10.0	14.1	140	-	140	150	-10
八千代第6	35.8	17.8	640	-	640	670	-30
八千代第7	-	22.9	-	-	-	-	-
合計	277.4	-	3,300	2,170	5,470	5,270	200

※1: 目標年次(令和8年度)の人口密度は、全体計画(令和8年度)と同値とする。

※2: 開発人口は既計画と同一とする。

3.2. 一人一日当りの汚水の量及びその推定の根拠

全体計画で設定している汚水量原単位及び生活汚水量の時間変動比等の諸元及び今回事業計画の原単位を表 3-4 に示す。全体計画では原単位等を利根川流総に準じて設定しており、今回計画においても原単位は同程度として設定する。

表 3-4 汚水量原単位

項目		全体計画		事業計画		備考		
		(令和8年度)		今回計画 (令和8年度)	既計画 (令和3年度)			
営業用水率		0.20		0.20	0.20	①	流総値	
地下水率		0.15		0.15	0.15	②	流総値	
日最大比(日最大/日平均)		1.33		1.33	1.33	③	流総値	
時間最大比(時間最大/日最大)		1.50		1.50	1.50	④	流総値	
汚水量原単位	日平均 (L/日・人)	家庭	生活	230	230	230	⑤	流総値
			営業	45	45	45	⑥	⑤×①
			合計	275	275	275	⑦	⑤+⑥
		地下水		55	55	55	⑧	⑬
		合計		330	330	330	⑨	⑦+⑧
	日最大 (L/日・人)	家庭	生活	305	305	305	⑩	⑤×③
			営業	60	60	60	⑪	⑩×①
			合計	365	365	365	⑫	⑩+⑪
		地下水		55	55	55	⑬	⑫×②
		合計		420	420	420	⑭	⑫+⑬
	時間最大 (L/日・人)	家庭	生活	460	460	460	⑮	⑩×④
			営業	90	90	90	⑯	⑮×①
			合計	550	550	550	⑰	⑮+⑯
		地下水		55	55	55	⑱	⑬
		合計		605	605	605	⑲	⑰+⑱

※ 今回事業計画値＝全体計画値となる。

3.3. 家庭下水、工場排水、地下水等の量及びこれらの推定の根拠

3.3.1. 家庭汚水量及び地下水量

家庭汚水量及び地下水量は、計画人口に汚水量原単位を乗じて算出する。全体計画及び事業計画の汚水量を表 3-5 及び表 3-6 に示す。

表 3-5 【全体計画：令和8年度】家庭汚水量及び地下水量

項目	全体計画(令和8年度)									
	計画人口 (人)	家庭汚水量及び地下水量(m ³ /日)								
		日平均			日最大			時間最大		
		家庭	地下水	計	家庭	地下水	計	家庭	地下水	計
原単位(L/人・日)	—	275	55	330	365	55	420	550	55	605
八千代第1	6,511	1,790	360	2,150	2,380	360	2,740	3,580	360	3,940
八千代第2	1,459	400	80	480	530	80	610	800	80	880
八千代第3	2,906	800	160	960	1,060	160	1,220	1,600	160	1,760
八千代第4	517	140	30	170	190	30	220	280	30	310
八千代第5	554	150	30	180	200	30	230	300	30	330
八千代第6	638	180	30	210	230	30	260	360	30	390
八千代第7	16	10	-	10	10	-	10	10	-	10
合計	12,601	3,470	690	4,160	4,600	690	5,290	6,930	690	7,620

表 3-6 【事業計画：令和8年度】家庭汚水量及び地下水量

項目	事業計画(令和8年度)									
	計画人口 (人)	家庭汚水量及び地下水量(m ³ /日)								
		日平均			日最大			時間最大		
		家庭	地下水	計	家庭	地下水	計	家庭	地下水	計
原単位(L/人・日)	—	275	55	330	365	55	420	550	55	605
八千代第1	4,040	1,110	220	1,330	1,470	220	1,690	2,220	220	2,440
八千代第2	200	60	10	70	70	10	80	110	10	120
八千代第3	220	60	10	70	80	10	90	120	10	130
八千代第4	230	60	10	70	80	10	90	130	10	140
八千代第5	140	40	10	50	50	10	60	80	10	90
八千代第6	640	180	40	220	230	40	270	350	40	390
八千代第7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,470	1,510	300	1,810	1,980	300	2,280	3,010	300	3,310

3.3.2. 工場排水量

事業計画の工場排水量は、全体計画で算出した水量を事業計画の面積で配分した値とする（表 3-7）。

なお、工場排水の時間変動率は、以下に示すとおりとする。

➤ 時間変動率 日平均：日最大：時間最大 = 1.0：1.0：2.0

表 3-7 工場排水量

項目	全体計画(令和8年度)				事業計画(令和8年度)		
	計画面積 (ha)	工場排水量(m ³ /日)		区分	計画面積 (ha)	工場排水量(m ³ /日)	
		日平均・日最大	時間最大			日平均・日最大	時間最大
①	②	③=②*2	-	④	⑤=②*(④/①)	⑥=⑤*2	
八千代第1	348.4	240	480	-	165.6	110	220
八千代第2	167.1	120	240	-	23.4	20	40
八千代第3	267.9	190	380	-	19.9	10	20
八千代第4	51.2	-	-	工場なし	22.7	-	-
八千代第5	39.4	-	-	工場なし	10.0	-	-
八千代第6	35.8	30	60	-	35.8	30	60
八千代第7	0.7	-	-	工場なし	-	-	-
合計	910.5	580	1,160	-	277.4	170	340

※ 工場なしは工場排水量の面積配分を行わない。

3.3.3. 計画汚水量のまとめ

全体計画及び事業計画の家庭、地下水及び工場排水量をまとめた計画汚水量の総括表を表 3-8 及び表 3-9 に示す。

表 3-8 【全体計画：令和 8 年度】計画汚水量総括表

単位：m³/日

項目	日平均					日最大					時間最大				
	家庭	地下水	小計	工場	合計	家庭	地下水	小計	工場	合計	家庭	地下水	小計	工場	合計
八千代第1	1,790	360	2,150	240	2,390	2,380	360	2,740	240	2,980	3,580	360	3,940	480	4,420
八千代第2	400	80	480	120	600	530	80	610	120	730	800	80	880	240	1,120
八千代第3	800	160	960	190	1,150	1,060	160	1,220	190	1,410	1,600	160	1,760	380	2,140
八千代第4	140	30	170	-	170	190	30	220	-	220	280	30	310	-	310
八千代第5	150	30	180	-	180	200	30	230	-	230	300	30	330	-	330
八千代第6	180	30	210	30	240	230	30	260	30	290	360	30	390	60	450
八千代第7	10	-	10	-	10	10	-	10	-	10	10	-	10	-	10
合計	3,470	690	4,160	580	4,740	4,600	690	5,290	580	5,870	6,930	690	7,620	1,160	8,780

表 3-9 【事業計画：令和 8 年度】計画汚水量総括表

単位：m³/日

今回変更	日平均					日最大					時間最大				
	家庭	地下水	小計	工場	合計	家庭	地下水	小計	工場	合計	家庭	地下水	小計	工場	合計
八千代第1	1,110	220	1,330	110	1,440	1,470	220	1,690	110	1,800	2,220	220	2,440	220	2,660
八千代第2	60	10	70	20	90	70	10	80	20	100	110	10	120	40	160
八千代第3	60	10	70	10	80	80	10	90	10	100	120	10	130	20	150
八千代第4	60	10	70	-	70	80	10	90	-	90	130	10	140	-	140
八千代第5	40	10	50	-	50	50	10	60	-	60	80	10	90	-	90
八千代第6	180	40	220	30	250	230	40	270	30	300	350	40	390	60	450
八千代第7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,510	300	1,810	170	1,980	1,980	300	2,280	170	2,450	3,010	300	3,310	340	3,650

3.4. 降雨量（降雨強度公式を含む）及びその決定の理由

3.4.1. 雨水流出量算定式

雨水流出量の算定公式には合理式又は実験式が用いられているが、近年の下水道計画では大部分の都市で合理式が採用されているため、本計画でも合理式を採用する。

合理式 $Q=1/360 \times C \times I \times A$

ここに、
 Q =雨水流出量（ $m^3/秒$ ）、 C =流出係数、
 I =降雨強度（ $mm/時$ ）、 A =排水面積（ ha ）

3.4.2. 確率降雨強度

合理式における降雨強度公式の式型には、タルボット型、シャーマン型及び久野・石黒型がある。このうちタルボット型は、降雨継続時間 5～120 分の間で他の 2 式より比較的大きな降雨強度を与え、また式型が簡単であることから広く使われている。このことをふまえ、本計画でもタルボット型を採用する。

タルボット型 $I=a/(t + b)$

ここに、 I =降雨強度（ mm/hr ）、 a 、 b =定数、 t =流達時間（分）

※ 流達時間（ t ）= 流入時間（ t_1 ）+ 流下時間（ t_2 ）であり、流入時間は全体計画に基づき、7分と設定する。

確率年については、下水道計画においては 5～10 年を原則とするとされていること及び同一流域関連市町村である下妻市等との整合を図り、5 年確率とする。年間降雨量が本町と近い館野高層気象台の 30 年間の降雨資料（10 分間及び 60 分間雨量）から確率降雨量を算定し、上記の降雨強度式の定数 a 、 b を決定した。得られた降雨強度式は次のとおり。

採用降雨強度式 $I = 3,600 / (t + 20)$ 5 年確率

※ $t = 60$ の時、 $45mm/hr$ となる。

3.4.3. 流出係数及びその決定の理由

流出係数は、降雨量と雨水流出量の比で表されるが、この係数は極めて多くの因子（蒸発・浸透・遅滞等）を包含しているため、正確な判断が困難であり、地域の特性によって左右される。

本計画では、用途別総括流出係数と工種別基礎流出係数から総括流出係数を求めることとする。

計画区域内の用途地域については、各排水区の用途別総括流出係数（表 3-10）を基に各用途地域の占める面積から加重平均によって総括流出係数を求めた（表 3-12）。また、用途地域外においては、代表的な地域を A と B の 2 つのランクに分けてサンプルを取り上げ、表 3-11 の工種別基礎流出係数の標準値を用いて面積加重平均によって総括流出係数を求めた。

なお、区域外流入については間地（0.10～0.30）あるいは緩勾配の山地（0.20～0.40）程度と考え、0.30 を採用した。

表 3-10 用途別総括流出係数

1 種住専	2 種住専	住居地域	近隣商業	商 業	準工業	工 業	用途外
0.45	0.45	0.50	0.60	0.60	0.55	0.65	0.40～0.45

表 3-11 工種別基礎流出係数

工 種	流出係数の標準値	本計画の採用値	備考
屋 根	0.85～0.95	0.90	流出係数の標準値は、 下水道計画設計指針に 示された値である。
道 路	0.80～0.90	0.85	
その他の不透面	0.75～0.85	0.80	
水 面	1.00	1.00	
間 地	0.10～0.30	0.20	
芝・樹木の多い公園	0.05～0.25	0.15	
勾配の緩い山地	0.20～0.40	0.30	
勾配の急な山地	0.40～0.60	0.50	

表 3-12 排水区別流出係数（用途地域）

用途地域 (基礎流出係数)	上段:面積(ha)								下段:面積×基礎流出係数		
	第1種住専	第2種住専	住居	近隣商業	商業	準工業	工業	小計	用途地域外	合計	採用 流出係数
	0.45	0.45	0.5	0.6	0.6	0.65	0.65	-	0.40~0.45	-	
山川第2排水区		4.40	1.60					6.00	26.30	32.30	0.45
		1.98	0.80					2.78	11.84	14.62	
山川第3排水区		4.60	6.50					11.10	29.70	40.80	0.45
		2.07	3.25					5.32	13.37	18.69	
山川第4排水区 (事業計画区域)	15.30	12.40	4.20	3.30				35.20	7.30	42.50	0.45
	6.89	5.58	2.10	1.98				16.55	2.92	19.47	
山川第5排水区 (事業計画区域)	24.70	5.60	11.00	0.70				42.00		42.00	0.50
	11.12	2.52	5.50	0.42				19.56		19.56	
入沼第1排水区 (事業計画区域)			9.00					9.00	72.00	81.00	0.40
			4.50					4.50	28.80	33.30	
面積合計	40.00	27.00	32.30	4.00				103.30	135.30	238.60	-

表 3-13 排水区別流出係数（用途地域外）

排水区名	ランク	採用 流出係数	排水区名	ランク	採用 流出係数
山川第1排水区	B	0.40	入沼第5排水区	B	0.40
山川第2排水区	A	0.45	入沼第6排水区	B	0.40
山川第3排水区	A	0.45	吉田第1排水区	B	0.40
山川第4排水区	B	0.40	吉田第2排水区	B	0.40
山川第5排水区	-	-	吉田第3排水区	B	0.40
山川第6排水区	B	0.40	吉田第4排水区	B	0.40
山川第7排水区	A	0.45	吉田第5排水区	B	0.40
山川第8排水区	B	0.40	平塚排水区	B	0.40
山川第9排水区	B	0.40	東仁連川第1排水区	A	0.45
入沼第1排水区	B	0.40	東仁連川第2排水区	B	0.40
入沼第2排水区	B	0.40	舟戸排水区	B	0.40
入沼第3排水区	A	0.45	仁江戸排水区	A	0.45
入沼第4排水区	A	0.45			

3.5. 主要な管渠の流量計算

事業計画区域（汚水）拡張に伴う主要な管きよの流量計算表は、別添資料を参照のこと。

4. 流域関連公共下水道から流域下水道に流入する下水の予定水質及びその推定の根拠

4.1. 一般家庭下水の予定水質、汚濁負荷量及びその推定の根拠

4.1.1. 家庭汚濁負荷量原単位

全体計画の家庭汚濁負荷量原単位は、表 4-1 に示すとおり利根川流総計画の値を採用している。事業計画における水質は、全体計画と同一とする。

表 4-1 家庭汚濁負荷量原単位

単位：g/人・日

項目	水質項目別負荷量原単位					備考	
	BOD	SS	COD	T-N	T-P		
生活系	し尿	18	20	10	9	0.9	
	雑排水	40	25	17	2	0.4	
	計	58	45	27	11	1.3	
営業系		12	9	5	2	0.3	営業用水率20%
合計		70	54	32	13	1.6	

4.1.2. 家庭下水の予定水質及び汚濁負荷量

全体計画及び事業計画の家庭下水の予定水質及び汚濁負荷量の算出結果を表 4-2 に示す。

表 4-2 【全体計画、事業計画】家庭下水の水質及び汚濁負荷量

項目		単位	BOD	SS	備考			
汚水量 原単位	生活	l/人・日	230	230	①	計画値		
	営業	l/人・日	45	45	②	計画値		
	合計	l/人・日	275	275	③	①＋②		
汚濁 負荷量 原単位	生活	g/人・日	58	45	④	計画値		
	営業	g/人・日	12	9	⑤	計画値		
	合計	g/人・日	70	54	⑥	④＋⑤		
予定水質	生活	mg/L	252	196	⑦	④/①×1000		
	営業	mg/L	267	200	⑧	⑤/②×1000		
	合計	mg/L	255	196	⑨	⑥/③×1000		
全体 計画	諸元	処理人口	人	12,601	12,601	⑩	計画値	
	汚濁 負荷量	家庭	生活	kg/日	731	567	⑪	④×⑩/1000
			営業	kg/日	151	113	⑫	⑤×⑩/1000
			合計	kg/日	882	680		⑪＋⑫
事業 計画	諸元	処理人口	人	5,470	5,470	⑬	計画値	
	汚濁 負荷量	家庭	生活	kg/日	317	246	⑭	④×⑬/1000
			営業	kg/日	66	49	⑮	⑤×⑬/1000
			合計	kg/日	383	295		⑭＋⑮

4.2. 工場排水の予定水質及び汚濁負荷量並びにその推定の根拠

今回計画の工場排水予定水質は全体計画の値を採用し、工場排水汚濁負荷量は工場排水量に工場排水予定水質を乗じて算出する。

全体計画の工場排水予定水質及び事業計画の工場排水汚濁負荷量を表 4-3 に示す。

表 4-3 【全体計画・事業計画】工場排水予定水質及び工場排水汚濁負荷量

項目		利根川流総計画 (令和8年度)	全体計画 (令和8年度)	事業計画 (令和8年度)
工場排水量(m ³ /日)		580	580	170
汚濁負荷量 (kg/日)	BOD	96	96	28
	SS	未記載	98	29
予定水質 (mg/L)	BOD	166	166	166
	SS	未記載	169	169

全体計画のSS汚濁負荷量:既計画のBOD、SS汚濁負荷量の割合から算出している。

事業計画の予定水質:全体計画と同値とする。

4.3. 流域下水道への流入水質

流域下水道への流入水質は、前項までの家庭污水及び工場排水に係る汚濁負荷量を計画汚水量で除することで算出する。全体計画及び事業計画の流域下水道への流入水質を表 4-4 及び表 4-5 に示す。

表 4-4 【全体計画：令和8年度】流域下水道への流入水質

項目		BOD	SS	備考
汚濁 負荷量 (kg/日)	家庭	882	680	日平均 計画下水量 (m ³ /日)↓
	工場	96	98	
	合計	978	778	
水質(mg/L)		206	164	4,740

※ 計画下水量は家庭、地下水、工場排水量の合計。

表 4-5 【事業計画：令和8年度】流域下水道への流入水質

項目		BOD	SS	備考
汚濁 負荷量 (kg/日)	家庭	383	295	日平均 計画下水量 (m ³ /日)↓
	工場	28	29	
	合計	411	324	
水質(mg/L)		208	164	1,980

※ 計画下水量は家庭、地下水、工場排水量の合計。

5. その他事業を明らかにするために必要な書類

5.1. 様式 1 施設の設置に関する方針

主要な施策 (事業計画に基づき今後実施する予定の事業に該当するものを記載)	整備水準			事業の 重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための 主要な事業	備考
	指標等	現在 (令和2年度末)	中期目標 (令和8年度末)			
汚水処理	下水道 処理人口 普及率	17.5%	25.8%	30.4%	平成28年度に公表された都道府県構想に基づく汚水処理の10年概成を目標とし、既事業計画における未整備区域を優先的に整備する。	管渠整備事業

5.2. 様式 2 施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i. 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	主要な管路施設、マンホール（ふたを含む）を対象に概ね 10 年に一度、点検を実施。また、点検で異状が確認された場合、テレビカメラ等による調査を実施。主要な管路施設のうち、腐食のおそれの大きい箇所（管渠、マンホール（ふたを含む））を対象に、概ね 5 年に一度点検を実施。点検で異状が確認された場合テレビカメラ等による調査を実施。

ii. 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	今後はストックマネジメント計画を策定し、それに基づいて修繕・改築の判断基準を定める。

iii. 改築事業の概要

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	今後は、ストックマネジメント計画を策定し、それに基づいた計画とする。

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算年次	試算の前提条件
年当たり概ね 0.67 億円	概ね 100 年後	管路施設の目標耐用年数を 75 年とする。

5.3. 様式 3 財政計画書

1) 公共+特環（八千代第1処理分区～第6処理分区）

単位：千円

イ 経費の部										
年次	建設改良費					維持管理費及び起債償還費				合計
	管渠	ポンプ場	流域下水道建設分担金	計	うち用地費	起債元利償還費	維持管理費	流域下水道管理運営費負担金	その他	
令和2年度 まで	7,903,544 7,245,598	-	286,252 310,189	8,189,796 7,555,787	-	2,942,141 2,795,254	134,329 184,496	1,646,307 1,652,429	-	12,912,573 12,187,966
令和3年度	339,200 374,588	-	2,763 6,707	341,963 381,295	-	207,619 151,884	11,787 24,206	49,194 50,479	-	610,563 607,864
令和4年度	339,200 660,630	-	2,763 6,707	341,963 667,337	-	215,660 158,219	12,184 25,494	50,919 53,639	-	620,726 904,689
令和5年度	338,555 650,630	-	2,763 6,707	341,318 657,337	-	225,647 165,140	12,580 26,781	52,642 56,797	-	632,187 906,055
令和6年度	- 650,630	-	- 6,707	- 657,337	-	- 171,045	- 28,068	- 59,955	-	- 916,405
令和7年度	- 650,630	-	- 6,707	- 657,337	-	- 176,589	- 29,356	- 63,114	-	- 926,396
令和8年度	- 650,630	-	- 6,707	- 657,337	-	- 181,553	- 30,642	- 66,273	-	- 935,805
令和3年度～ 令和8年度	1,016,955 3,637,738	-	8,289 40,242	1,025,244 3,677,980	-	648,926 1,004,430	36,551 164,547	152,755 350,257	-	1,863,476 5,197,214
合計	8,920,499 10,883,336	-	294,541 350,431	9,215,040 11,233,767	-	3,591,067 3,799,684	170,880 349,043	1,799,062 2,002,686	-	14,776,049 17,385,180

単位：千円

ロ 財源の部													
年次	建設改良費							維持管理費及び起債償還費				合計	
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	県費	その他	計	下水道使用料※	他会計繰入金	その他	計		
令和2年度 まで	2,559,078 2,371,598	4,503,715 4,023,503	757,963 801,974	352,910 341,582	16,130 17,130	-	8,189,796 7,555,787	290,674 311,694	4,432,103 4,320,485	-	4,722,777 4,632,179	12,912,573 12,187,966	
令和3年度	111,470 125,302	212,428 234,582	4,256 3,228	13,809 18,183	-	-	341,963 381,295	30,351 36,047	238,249 190,522	-	268,600 226,569	610,563 607,864	
令和4年度	111,470 228,818	212,428 393,305	4,256 13,631	13,809 31,583	-	-	341,963 667,337	31,558 38,524	247,205 198,828	-	278,763 237,352	620,726 904,689	
令和5年度	111,354 228,818	211,932 393,305	4,261 3,631	13,771 31,583	-	-	341,318 657,337	32,766 41,001	258,103 207,717	-	290,869 248,718	632,187 906,055	
令和6年度	- 228,818	- 393,305	- 3,631	- 31,583	-	-	- 657,337	- 43,478	- 215,590	-	- 259,068	- 916,405	
令和7年度	- 228,818	- 393,305	- 3,631	- 31,583	-	-	- 657,337	- 45,955	- 223,104	-	- 269,059	- 926,396	
令和8年度	- 228,818	- 393,305	- 3,631	- 31,583	-	-	- 657,337	- 48,431	- 230,037	-	- 278,468	- 935,805	
令和3年度～ 令和8年度	334,294 1,269,392	636,788 2,201,107	12,773 31,383	41,389 176,098	-	-	1,025,244 3,677,980	94,675 253,436	743,557 1,265,798	-	838,232 5,561,009	1,863,476 14,776,049	
合計	2,893,372 3,640,990	5,140,503 6,224,610	770,736 833,357	394,299 517,680	16,130 17,130	-	9,215,040 11,233,767	385,349 565,130	5,175,660 5,586,283	-	6,151,413	17,385,180	
下水道使用料※関連事項	接続率：59.1%（令和2年度：初年度）→70.0%（令和8年度：最終年度） 広報活動、戸別訪問等の接続促進施策により、接続率の向上を図る。												
	有収率：93.5%（令和2年度：初年度）→93.5%（令和8年度：最終年度） 有収率は十分に高いことから、この有収率を維持していくため、今後も引き続き、誤接続防止等の広報PR活動を継続的に実施する。												
	その他講じる対策												
	（空欄）												

2) 公共（八千代第1処理分区）

単位：千円

イ 経費の部										
年次	建設改良費					維持管理費及び起債償還費				合計
	管渠	ポンプ場	流域下水道建設分担金	計	うち用地費	起債元利償還費	維持管理費	流域下水道管理運営費負担金	その他	
令和2年度まで	5,211,884	-	155,883	5,367,767	-	2,124,090	63,424	877,212	-	8,432,493
	4,806,367	-	185,512	4,991,879	-	2,143,641	85,882	892,801	-	8,114,203
令和3年度	266,704	-	1,340	268,044	-	118,833	6,394	29,026	-	422,297
	253,235	-	6,263	259,498	-	99,208	11,849	32,295	-	402,850
令和4年度	266,704	-	1,340	268,044	-	126,457	6,692	30,379	-	431,572
	539,277	-	6,263	545,540	-	105,193	12,858	35,044	-	698,635
令和5年度	267,152	-	1,340	268,492	-	134,237	6,990	31,735	-	441,454
	529,277	-	6,263	535,540	-	111,233	13,866	37,792	-	698,431
令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	529,277	-	6,263	535,540	-	116,283	14,874	40,540	-	707,237
令和7年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	529,277	-	6,263	535,540	-	120,972	15,883	43,288	-	715,683
令和8年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	529,277	-	6,263	535,540	-	125,054	16,891	46,037	-	723,522
令和3年度～令和8年度	800,560	-	4,020	804,580	-	379,527	20,076	91,140	-	1,295,323
	2,909,620	-	37,578	2,947,198	-	677,943	86,221	234,996	-	3,946,358
合計	6,012,444	-	159,903	6,172,347	-	2,503,617	83,500	968,352	-	9,727,816
	7,715,987	-	223,090	7,939,077	-	2,821,584	172,103	1,127,797	-	12,060,561

単位：千円

ロ 財源の部												
年次	建設改良費						維持管理費及び起債償還費				合計	
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	県費	その他	計	下水道使用料	他会計繰入金	その他		計
令和2年度まで	1,625,404	3,105,654	392,465	233,414	10,830	-	5,367,767	213,860	2,850,866	-	3,064,726	8,432,493
	1,510,420	2,830,450	406,605	232,574	11,830	-	4,991,879	227,004	2,895,320	-	3,122,324	8,114,203
令和3年度	93,346	160,826	3,758	10,114	-	-	268,044	23,017	131,236	-	154,253	422,297
	94,963	149,369	2,874	12,292	-	-	259,498	26,603	116,749	-	143,352	402,850
令和4年度	93,346	160,826	3,758	10,114	-	-	268,044	24,089	139,439	-	163,528	431,572
	198,479	308,092	13,277	25,692	-	-	545,540	28,867	124,228	-	153,095	698,635
令和5年度	93,503	161,096	3,762	10,131	-	-	268,492	25,164	147,798	-	172,962	441,454
	198,479	308,092	3,277	25,692	-	-	535,540	31,131	131,760	-	162,891	698,431
令和6年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	198,479	308,092	3,277	25,692	-	-	535,540	33,395	138,302	-	171,697	707,237
令和7年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	198,479	308,092	3,277	25,692	-	-	535,540	35,659	144,484	-	180,143	715,683
令和8年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	198,479	308,092	3,277	25,692	-	-	535,540	37,922	150,060	-	187,982	723,522
令和3年度～令和8年度	280,195	482,748	11,278	30,359	-	-	804,580	72,270	418,473	-	490,743	1,295,323
	1,087,358	1,689,829	29,259	140,752	-	-	2,947,198	193,577	805,583	-	999,160	3,946,358
合計	1,905,599	3,588,402	403,743	263,773	10,830	-	6,172,347	286,130	3,269,339	-	3,555,469	9,727,816
	2,597,778	4,520,279	435,864	373,326	11,830	-	7,939,077	420,581	3,700,903	-	4,121,484	12,060,561

3) 特環（八千代第2処理分区～第6処理分区）

単位:千円

イ 経費の部										
年次	建設改良費					維持管理費及び起債償還費				合計
	管渠	ポンプ場	流域下水道建設分担金	計	うち用地費	起債元利償還費	維持管理費	流域下水道管理運営費負担金	その他	
令和2年度 まで	2,691,660 2,439,231	-	130,369 124,677	2,822,029 2,563,908	-	818,051 651,613	70,905 98,614	769,095 759,628	-	4,480,080 4,073,763
令和3年度	72,496 121,353	-	1,423 444	73,919 121,797	-	88,786 52,676	5,393 12,357	20,168 18,184	-	188,266 205,014
令和4年度	72,496 121,353	-	1,423 444	73,919 121,797	-	89,203 53,026	5,492 12,636	20,540 18,595	-	189,154 206,054
令和5年度	71,403 121,353	-	1,423 444	72,826 121,797	-	91,410 53,907	5,590 12,915	20,907 19,005	-	190,733 207,624
令和6年度	- 121,353	-	- 444	- 121,797	-	- 54,762	- 13,194	- 19,415	-	- 209,168
令和7年度	- 121,353	-	- 444	- 121,797	-	- 55,617	- 13,473	- 19,826	-	- 210,713
令和8年度	- 121,353	-	- 444	- 121,797	-	- 56,499	- 13,751	- 20,236	-	- 212,283
令和3年度～ 令和8年度	216,395 728,118	-	4,269 2,664	220,664 730,782	-	269,399 326,487	16,475 78,326	61,615 115,261	-	568,153 1,250,856
合計	2,908,055 3,167,349	-	134,638 127,341	3,042,693 3,294,690	-	1,087,450 978,100	87,380 176,940	830,710 874,889	-	5,048,233 5,324,619

単位:千円

ロ 財源の部												
年次	建設改良費							維持管理費及び起債償還費				合計
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	県費	その他	計	下水道使用料	他会計繰入金	その他	計	
令和2年度 まで	933,674 861,178	1,398,061 1,193,053	365,498 395,369	119,496 109,008	5,300 5,300	-	2,822,029 2,563,908	76,814 84,690	1,581,237 1,425,165	-	1,658,051 1,509,855	4,480,080 4,073,763
令和3年度	18,124 30,339	51,602 85,213	498 354	3,695 5,891	-	-	73,919 121,797	7,334 9,444	107,013 73,773	-	114,347 83,217	188,266 205,014
令和4年度	18,124 30,339	51,602 85,213	498 354	3,695 5,891	-	-	73,919 121,797	7,469 9,657	107,766 74,600	-	115,235 84,257	189,154 206,054
令和5年度	17,851 30,339	50,836 85,213	499 354	3,640 5,891	-	-	72,826 121,797	7,602 9,870	110,305 75,957	-	117,907 85,827	190,733 207,624
令和6年度	- 30,339	- 85,213	- 354	- 5,891	-	-	- 121,797	- 10,083	- 77,288	-	- 87,371	- 209,168
令和7年度	- 30,339	- 85,213	- 354	- 5,891	-	-	- 121,797	- 10,296	- 78,620	-	- 88,916	- 210,713
令和8年度	- 30,339	- 85,213	- 354	- 5,891	-	-	- 121,797	- 10,509	- 79,977	-	- 90,486	- 212,283
令和3年度～ 令和8年度	54,099 182,034	154,040 511,278	1,495 2,124	11,030 35,346	-	-	220,664 730,782	22,405 59,859	325,084 460,215	-	347,489 520,074	568,153 1,250,856
合計	987,773 1,043,212	1,552,101 1,704,331	366,993 397,493	130,526 144,354	5,300 5,300	-	3,042,693 3,294,690	99,219 144,549	1,906,321 1,885,380	-	2,005,540 2,029,929	5,048,233 5,324,619

6. 参考資料（基準年次別の段階的建設計画）

基準年次別の段階的建設計画を表 6-1 に示す。

表 6-1 基準年次別の段階的建設計画

項目	現 況		事業計画		全体計画	
	令和2年度		(令和8年度)		(令和8年度)	
汚水						
処理人口(人)/処理面積(ha)	整備人口 / 処理面積		整備人口 / 処理面積		整備人口 / 処理面積	
八千代第1処理分区	2,049 / 111.64		4,040 / 165.60		6,511 / 348.40	
八千代第2処理分区	176 / 18.07		200 / 23.40		1,459 / 167.10	
八千代第3処理分区	337 / 18.11		220 / 19.90		2,906 / 267.90	
八千代第4処理分区	316 / 19.70		230 / 22.70		517 / 51.20	
八千代第5処理分区	125 / 10.99		140 / 10.00		554 / 39.40	
八千代第6処理分区	783 / 30.93		640 / 35.80		638 / 35.80	
八千代第7処理分区	- / -		- / -		16 / 0.70	
合計	3,786 / 209.44		5,470 / 277.40		12,601 / 910.50	
流域下水道への流入水量						
日平均(m ³ /日) / 日最大(m ³ /日)	日平均 / 日最大		日平均 / 日最大		日平均 / 日最大	
八千代第1処理分区	444 / 592		1,440 / 1,800		2,390 / 2,980	
八千代第2処理分区	19 / 25		90 / 100		600 / 730	
八千代第3処理分区	27 / 36		80 / 100		1,150 / 1,410	
八千代第4処理分区	26 / 35		70 / 90		170 / 220	
八千代第5処理分区	18 / 24		50 / 60		180 / 230	
八千代第6処理分区	79 / 105		250 / 300		240 / 290	
八千代第7処理分区	- / -		- / -		10 / 10	
合計	613 / 817		1,980 / 2,450		4,740 / 5,870	
雨水						
全排水区面積(ha)		0.0		45.5		910.5
ポンプ場	—		—		—	